

エコツーリズムとは

・エコツーリズム推進法

第2条

この法律において「エコツーリズム」とは、観光旅行者が、自然観光資源について知識を有する者から案内又は助言を受け、当該自然観光資源の保護に配慮しつつ当該自然観光資源と触れ合い、これに関する知識及び理解を深めるための活動をいう。

・知床エコツーリズム推進実施計画

知床型エコツーリズムの理念

豊かで多様な自然環境と、その自然によって育まれた地域の産業・文化を活かした「知床型エコツーリズム」を地域住民、来訪者、事業者が共に築き上げていくことができるよう、エコツーリズム推進のための基礎となる施策の実施、仕組みの整備等を以下の理念に従って進めていくものとする。

1．自然とのふれあい（自然環境 - 観光）

来訪者が豊かな知床の自然環境にふれあい、感動することによって、自然保護の精神が生まれ、自然環境に配慮した利用につながる。

2．地域とのふれあい（地域 - 観光）

来訪者と地域住民とが交流する機会を提供することにより、来訪者は知床の産業や歴史・文化を学ぶことができ、それが正しく評価されることによって、地域住民が誇りと自信を持つことにつながる。

3．自然との共生（自然環境 - 地域）

漁業・農業など自然の恵みを享受する産業に従事する地域住民が、知床の豊かな自然環境の価値を理解するようになり、また、外部からの正しい評価によって、その保全への行動につながる。

これら「自然環境」、「観光」、「地域」がエコツーリズムを通して深い関わりを持つことで、地域の自然環境や歴史・文化を尊重し、経済的にも自立した社会が知床において確立する。それは経済と環境の好循環を生み出し、知床の価値を高めていく。

・知床世界自然遺産地域の保全状況に関する調査報告書

勧告 14

遺産地域に関する、統合的なエコツーリズム戦略を出来る限り早急に策定すること。この

戦略は、遺産地域の自然価値の保護、観光客の自然に基づく良質な体験の促進、地域経済の発展の促進を基本とすべき。

・エコツーリズム憲章

ひとびとが、自然や環境、文化を発見する旅に加わり、自然のために、小さくても何かを实践し、そうした旅人を受け入れる地域を、みんなで作っていけば、この国土のすみずみにまで、個性に満ちた自然や文化があふれ、もっとゆたかないのちを楽しむことができる。一人ひとりが自然を守り、考え、慈しむ。自然の中にあたらしい光を見る、「エコツーリズム」はそのための提案です。

(中略)

「エコツーリズム」は次の3つを実現し、それがずっと続いていくことをめざします。

地域の自然と文化を知り、慈しむ。

元気な地域が自然を守る。

自然と文化を受け継いでいく。

・IUCN (国際自然保護連合)

「エコツーリズムは、自然地域の中で観察し、研究し、楽しむ観光である。」

「自然保護地域のために十分な資金を生み出し、地域社会に雇用の機会を創出し、旅行者に環境教育の場を提供することによって、自然保護あるいは自然保護地域づくりに貢献する自然観察または地域文化を学習する観光」

(エコツーリズム推進マニュアル 資料編より)